

## 「2023年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学枠等」調査票 2022年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

## &lt;基本情報①(自治体情報)&gt;

都道府県市名 政令都市・中核都市名	大阪府		
高校入試 担当部署名	教育庁教育振興室高等学校課学事グループ		
TEL	06-6944-6887	FAX	06-6944-6888
URL	<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/tyugakusei/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/tyugakusei/index.html</a>		

## &lt;基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)&gt;

調査担当者名	村上 自子 (所属: NPO法人おおさかこども多文化センター )
--------	----------------------------------

## &lt;全国一覧掲載情報&gt;

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし		なし	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)	①定員内			①定員内		①定員内						

## 2022年度実施(2023年度入試)調査票

## I 全日制高校について

	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	令和5年度大阪府公立高等学校入学者選抜における配慮事項	令和5年度大阪府公立高等学校入学者選抜における配慮事項	令和5年度大阪府公立高等学校入学者選抜における配慮事項
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	帰国又は入国後、原則として小学校第1学年以上の学年に編入学した者	帰国又は入国後、原則として小学校第1学年以上の学年に編入学した者	帰国又は入国後、原則として小学校第1学年以上の学年に編入学した者
2-3.措置の内容	学力検査の時間延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用	学力検査の時間延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用	学力検査の時間延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	○	○	○
3-1の名称	日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜	日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜	海外から帰国した生徒の入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限	原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第4学年以上の学年に編入学した者	原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第4学年以上の学年に編入学した者	原則として外国に2年以上在留し、帰国後2年以内の者
3-3.入学枠のある学校数/全学校数	8校/全校145校	8校/全校145校	13校/全校145校
3-4.学校名	東淀川、福井、門真なみはや八尾北、成美、長吉、布施北 ※大阪わかば(多部制の昼間定時制だが、午前中の授業の他、午後の授業も選択でき、実質全日制と同じと判断)	東淀川、福井、門真なみはや八尾北、成美、長吉、布施北 ※大阪わかば(多部制の昼間定時制だが、午前中の授業の他、午後の授業も選択でき、実質全日制と同じと判断)	住吉、千里、泉北、東、いちりつ、旭、枚方、花園、長野、佐野、箕面、和泉、水都国際
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内) 計122名(20名1校、16名X3校、14名X3校、12名1校) 14	①定員内(枠内) 計122名(20名1校、16名X3校、14名X3校、12名1校) 14	若干名
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択	○	○	○
3-7.試験内容	数学、英語、作文	数学、英語、作文	数学、英語、面接
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入	志願者数:98名 合格者数:91名	志願者数:98名 合格者数:91名	志願者数:39名 合格者数:36名

## II 定時制高校について

		D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	○	○
2-1の名称		令和5年度大阪府公立高等学校入学者選抜における配慮事項	令和5年度大阪府公立高等学校入学者選抜における配慮事項	令和5年度大阪府公立高等学校入学者選抜における配慮事項
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限		原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第1学年以上の学年に編入学した者	原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第1学年以上の学年に編入学した者	原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第1学年以上の学年に編入学した者
2-3.措置の内容		学力検査の延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		有	把握せず	把握せず
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学者の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		×	×	×
3-1の名称				
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限				
3-3.入学枠のある学校数/全学校数				
3-4.学校名				
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択				
3-7.試験内容				
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択				
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択		有	
2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施	
	<input checked="" type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施	
	<input checked="" type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施	
	<input checked="" type="checkbox"/>	D.担当教員の加配	
	<input checked="" type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用	
	<input checked="" type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用	
	<input checked="" type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用	
	<input checked="" type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)	
	その他の施策		
	上記に該当する実施校の校数等	特別校選抜実施校を含む日本語指導が必要な生徒が在籍する46校において、それぞれの状況に応じて実施している。	
補足事項			
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入	放課後等に多文化共生理解の取組みをする等の部活動		
4.2022年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受験(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	有		
5.2021年度中に、直接来日後による編入学生の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	有		

Ⅳ 日本国内にある外国学校からの入学について

	↓ 記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	△	個別の事情を勘案し、判断する。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	志願者の個別の事情を勘案し、学校教育法施行規則第95条第5項に該当するかどうかを、応募資格の確認とあわせて出願に先立って行っている。
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	△	個別の事情を勘案し、判断する。
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	志願者の個別の事情を勘案し、学校教育法施行規則第95条第5項に該当するかどうかを、応募資格の確認とあわせて出願に先立って行っている。
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学校での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2022年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	有	受験希望者数を把握していない。

## V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>・近年、日本の中学校を経験しないで、大阪府立高校に入学してくる生徒が増えてきている。多くは、日本語力がほとんどなかったり、日本の学校制度が分からないので、高校入学後に日本語と教科学習に困難に直面している。入学前に、一定期間のプレスクールを実施する必要性を感じている。 ・大阪府には夜間定時制高校には特別入学枠がない。昼間仕事をしながら、夜に勉強を希望する生徒が一定数いるので、19校ある夜間定時制高校に拠点校の設置と日本語指導、日本語レベル別教科指導、母語継承語教育のカリキュラムを取り入れることを望む。 ・日本語能力検定試験の合格(N1,N2)者に単位認定を望む。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>大阪府独自の私立高等学校等授業料支援補助金を交付することにより、保護者が負担する授業料が無償又は一部負担となるよう支援しているため、私学を希望する生徒が増えた。今では、公立と私立の入学割合がほぼ同じぐらいまでになってきている。日本語力に課題がある生徒も私学に入学する傾向が増えてきている。入試の配慮事項として、ルビ、時間の延長を可能な限りおこなっている学校もある。入学後の対応は、個別の対応になっていて、十分な日本語指導や日本語指導が必要な生徒の体制ができていない学校は多いと聞いている。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>NPO法人おおさかこども多文化センター <a href="http://okotac.org/">http://okotac.org/</a> 大阪府在日外国人教育研究協議会 <a href="mailto:fugaikyo@nifty.com">fugaikyo@nifty.com</a> 大阪市外国人教育研究協議会 Tel. 070-1796-0050</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>大阪府立高校の多言語による基本的な入試情報 「進路選択に向けて」 「高校リスト」 <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kikokutoriti-sapo/shinro-senntaku.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kikokutoriti-sapo/shinro-senntaku.html</a> 高校 支援力ード <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/seishi/seikatusiken.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/seishi/seikatusiken.html</a> 「高校に入 学するみなさんへ」(日本語・中国・英語・韓国・朝鮮語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・フィリピン語・タイ 語・ネパール語・ロシア語・インドネシア語) <a href="https://pianihongo.org/pianihongowp/?page_id=98">https://pianihongo.org/pianihongowp/?page_id=98</a></p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>大阪府教育委員会の外部委託事業である日本語教育学校支援(ピアにほんご)は、日本語指導の必要な生徒対象の教科学習支援と相談および保護者懇談等通訳として教育サポーターを派遣している。 日本語指導担当の高校教員による日本語能力試験対策指導をオンラインで、希望する府立高校生に放課後に実施している。</p>